

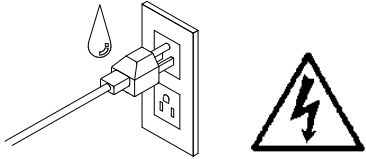
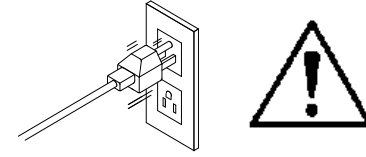
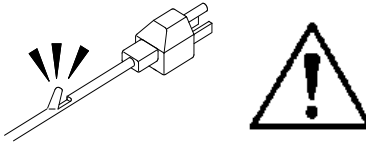
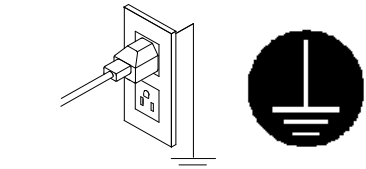
Digica Rev.3 プリンターユーザズガイド

●安全にご使用いただくために

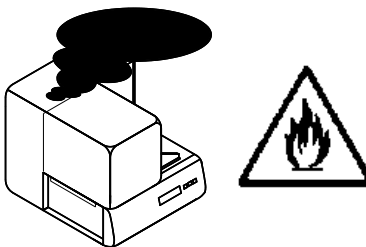
安全にお使いいただくために、以下の注意を必ずお守りください。

また、本項に記載されていること以外は行わないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

◆電源について

●濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。	
●電源コードは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。 差し込みが不十分だと、火災や感電の原因になります。	
●痛んだ電源コード、緩んだコンセントは使用しないでください。そのまま使用すると、漏電し、火災や感電の原因になります。	
●必ずアース線を接続して使用してください。 アース線がアースに接続されていないと、感電の原因になります。	

◆万一異常が起きたら…

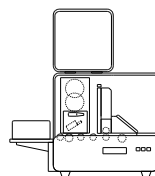
●万一煙りが出たり、変な臭いがするなどの異常が起った場合、そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。 すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、当社サービス窓口までご連絡ください。	
---	---

◆その他

●プリンタの分解、改造はしないでください。

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。

点検、修理は、購入された販売店または当社サービス窓口までご連絡ください。

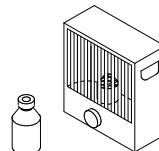


◆クリーニング液について

●クリーニング液は引火性溶剤です。

加熱したり、火の側に置かないでください。

火災の原因となります。



●子供の手の届くところに置かないでください。

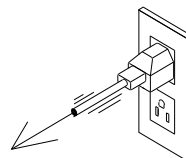
誤って飲み込むと大変危険です。万一飲み込んでしまった場合は、最寄りの医師にご相談ください。



◆電源について

●電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

コードを引っばると電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。



●AC 100V以外の電源電圧で使用しないでください。

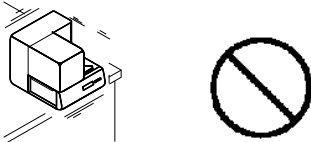
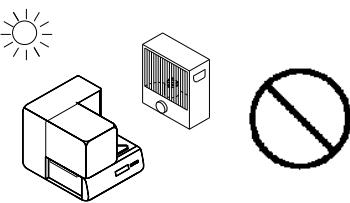
火災や感電の原因になることがあります。

電源電圧 : AC 100V

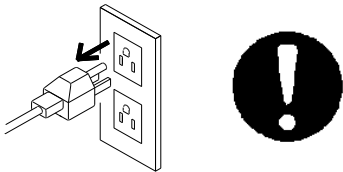
電源周波数 : 50 / 60 Hz





◆設置場所について

<p>●不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。 プリンタが落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。</p>	
<p>●湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、高湿や火気の近くには設置しないでください。 火災や感電の原因になることがあります。 周囲の温度が5～35℃、湿度が10～80%（結露しないこと）の範囲の場所でお使いください。</p>	

◆清掃時の注意

<p>●清掃の時は、必ず電源コンセントを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。 ショートや感電の原因になります。</p>	
--	---

◆動作中の注意

<p>●本体カバー開閉時には、手や指を挟まないように注意して行ってください。 けがの原因となります。</p>	
<p>●動作中はプリンタの中に手や物を近づけないでください。 けがや故障の原因となります。</p>	

目 次

●安全にご使用いただくために	1
●主な仕様	5
●設置上の注意	6
●本装置使用上の注意	7
●開梱時の確認	9
●排紙トレイの取り付け方	10
●コンピュータとの接続	11
●電源ケーブルの接続	12
●各部の名称	13
●オペレーションパネルの説明	15
●TRIALモードについて	16
●エラーメッセージについて	17
●日常の作業	
・インクリボンの交換	18
・用紙のセット	24
・ヘッド圧力調整	26
・用紙ジャムの取り除き方	27
・リボンの弛み調整	28
・プリンタヘッド交換	28
・印字位置調整	28
・斜行調整	29
・リボン剥離板の取り付け方	30
●各部の清掃	
・プリンタヘッド、プラテンの清掃	31
・取り出しローラー、ピンチローラーの清掃	32
・第一ピンチローラーの清掃	33
・センサーの清掃	34
●オプション品と消耗品	35
●アフターサービスについて	36

●主な仕様

型式	卓上型 名刺・はがき専用プリンタ
印字方式	熱転写方式（端面ヘッド）
印刷解像度	1 2 0 0 d p i 相当（主走査 6 0 0 d p i、副走査 1 2 0 0 d p i）
最大印字幅	1 0 4 mm（長さ：2 5 6 mm 但し延長スタッカー使用時）
最大印字領域	幅 1 0 2 mm×長さ 2 5 6 mm
最大用紙サイズ	幅 1 2 0 mm×長さ 2 6 0 mm
最小用紙サイズ	幅 8 5 mm×長さ 4 9 mm
用紙厚さ	0. 1 6 mm～0. 3 8 mm
インクリボン	専用インクリボン
給紙方式	水平給排紙 最大 3 0 0 枚（名刺 0.1 8 換算にて）
印字速度	5 0 mm／s e c 平均
印字精度	± 0. 5 mm
インターフェース	双方向パラレルインターフェース（I E E E 1 2 8 4 準拠）
OS	Windows 9 5／9 8／Me／NT 4.0／2000／XP
大きさ	（W）3 6 2 ×（D）3 1 6 ×（H）3 6 3 mm （但し、排紙トレイなどの突起物は含まず）
重量	約 2 5 Kg（但し、排紙トレイを除く）
電源	AC 1 0 0 V ± 1 0 %、5 0／6 0 H z
消費電力	動作時 3 0 0 V A 以下 待機時 5 0 V A 以下
動作環境	5℃～3 5℃、3 5 %～8 5 % R H（結露なきこと）

※用紙の上下左右各 2 mm は印字保証外領域です。

※単カード等では最大印字領域幅 1 0 2 mm のため、印字できない空白が発生します。

●設置上の注意

本機器は精密機器です。

次の設置環境を配慮していただくことにより、安定な動作をし、安心してご使用いただけます。

- ① 交流電流AC 100Vは必ずアース付き工事をしたコンセントからとり、また電圧変動の少ない電源から供給してください。
近くに消費電力の大きい電機製品（例えば大型冷蔵庫など）があると、その機器が作動した時に電源AC 100Vは瞬時に電圧が変動したり、雑音が発生して誤動作の原因となります。
- ② 高湿、多湿の場所への設置はさけてください。
電子回路故障の原因となります。
- ③ じん埃の多いところへの設置はさけてください。
精密電子回路のため、調整にくるいが生じ故障の原因となります。また、機器の耐用寿命も短くなります。
- ④ 直射日光の当たる場所への設置はさけてください。
各種光学センサーおよび光学読み取り器を装備しているので、直射日光があたると誤動作の原因となることがあります。
- ⑤ 低温（5℃以下）の場所への設置はさけてください。
駆動部の潤滑油の粘度がかたくなり動作が不安定になることがあります。
- ⑥ 静電気発生時期においては、人体をふくめ出来る限り除電を行った後操作する様にして下さい。
誤動作や重送等の原因となります。

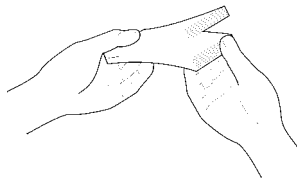
●本装置使用上の注意



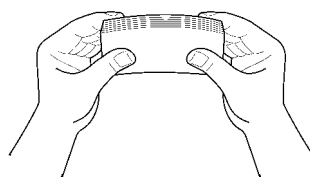
このプリンタは熱転写方式のため、本機で作成されたはがきをレーザープリンタなどに通すと、印刷されたリボンが溶けてしまい、レーザープリンタにも悪影響を与えます。絶対に使用しないようにご注意ください。

用紙について

- ・ 本機での用紙評価は山櫻用紙で実施しております。
他メーカー品用紙での評価は行っておりません。
- ・ 本機ではエンボス、レザック、表面のざらついた用紙、トレーシング、桐、一部の和紙などは美しく印字されません。
- ・ 0.16mmより薄い用紙の場合、2枚送りなどの発生が考えられますので、ご使用しないでください。
また、インクジェット用紙も種類により（特に光沢紙）重送の発生が考えられますので、出来る限りご使用にならないで下さい。
- ・ 用紙の材質によっては一部カールする場合があります。
- ・ 紙粉やパウダーなどはプリンタヘッドの破損や給紙不良・印字不良の原因となりますので、用紙をセットする前に用紙をよくさばいてからセットしてください。



- ・ 「しわ」や「カール」している用紙は使用しないでください。使用する場合には手前逆向きに曲げてカールを直した後にセットしてください。



インクリボンについて

- ・印字品質、サーマルヘッド寿命、リボン送り安定度などに大きく影響しますので、必ず当社純正リボンをご使用ください。
- ・インクリボンの保管は直射日光・高温、多湿の場所では保管しないでください。不良の原因となります。
また、0℃以下になる場所に放置しないでください。
インクが固まり、印字品質の低下を招きます。
- ・両面印字される場合には、印刷された面のインクリボンのインクがはがれ落ち、用紙を汚す場合がありますので、指定のインクリボンをご使用下さい。

印字濃度について

- ・印字濃度はプリンタドライバーにて“1”～“20”までの任意設定ができ、大きい数字になるほど印字濃度は濃くなります。（初期設定値は10）
- ・通常は、初期設定値にて適正な印字品質を得ることが出来ますが、紙質、インクリボン仕様によっては適正な印字品質を得るために設定を変える必要があります。
（詳細はプリンタドライバマニュアル参照）
- ・印字濃度は必要以上に濃くしますと、逆に印字全体が薄くかすれた状態（再剥離状態）になってしまいます。
- ・印字濃度は濃くするに従ってプリンタヘッドには負担がかかるため、必要以上の設定はプリンタヘッドの寿命を早めることになるので、濃度設定は必要最小限の設定を心がけるようにしてください。
- ・また、本機は印字濃度、印字スピード、ヘッド圧により印字定着をコントロールできるようになっています。このことから印字濃度でかすれ発生の場合には少し印字スピードを落とす、又はヘッド圧をHにすることにより定着を良くすることができます。

印字保証外領域と印字不可領域

- ・印字保証外領域　：　用紙先端／後端左右　各2mm
※箔印字の場合は用紙先端・後端6mmとなります
- ・印字不可領域　　：　用紙幅が104mmを越える場合には、越える部分への印字はできません。

●開梱時の確認

- ・本機以外に、次の付属品が同梱されています。ご確認ください。

万一、不足しているものがある場合は、ご購入の販売店又は弊社までご連絡ください。

◆同梱内容

名 称	数 量
取扱説明書	1 冊
プリンタドライバマニュアル	1 冊
プリンタドライバCD-ROM	1 枚
保証書	1 枚
用紙出力サンプル（名刺・はがき・インクリボン色見本）	1 枚
年間保守契約書	1 枚
排紙トレイ	1 個
電源ケーブル	1 本
剥離板（金箔印刷用）	1 枚
プリンタケーブル（セントロニクス）	1 本
プリントヘッドクリーナー	1 個
ローラークリーニングキット	1 式
インクリボン（黒）100m巻き	1 本
名刺用紙 100枚入り	1 個
はがき用紙 100枚入り	1 個
開梱説明書	1 枚

●排紙トレイの取り付けかた

給紙台は、以下の手順で排出口の下側に取り付けます。

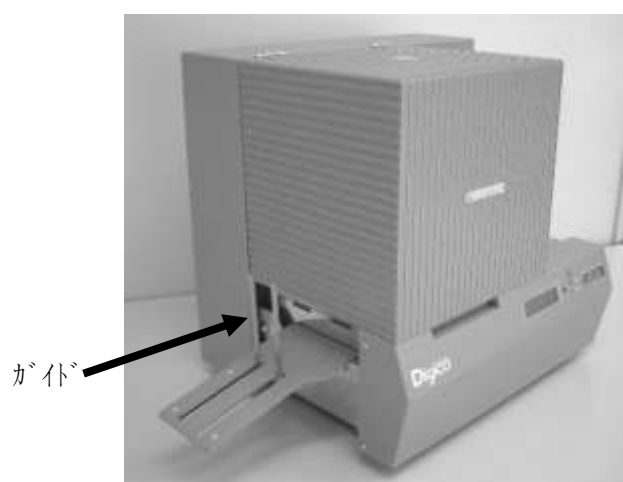
- ①本体の用紙排出口にあるトレイ受けがあります。
トレイを差し込む穴を確認します。



トレイ受けの穴に差し込む

- ②差し込み穴に排紙トレイを差し込むと
セット完了です。

- ③印字する用紙に合わせてがイ`を調整します。



トレイをセットした状態

●コンピュータとの接続

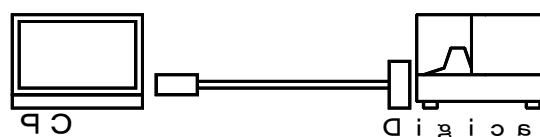
本機はパラレルインターフェースを装備しておりますので、各種コンピュータへ接続することができます。

但し、接続するコンピュータによりインターフェースが異なりますので、ご注意ください。

（コンピュータの接続モードをE C P接続にしておくと転送速度が速くなります）

注）市販のパラレルーU S Bケーブルをご使用になられる場合には

弊社サポートセンターにお問い合わせ下さい。



- ①コンピュータと本機の両方の電源が切れていることを確認してください。



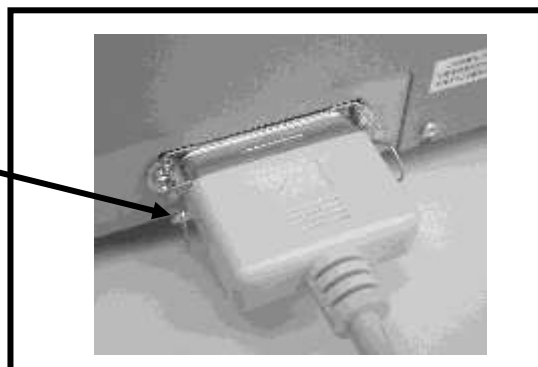
- ②インターフェースケーブル（プリンタケーブル）プラグを本機パラレルインターフェースコネクタに接続します。



- ③クランパーでプラグを固定します。

クランパー

- ④インターフェースケーブルのコンピュータ側プラグをコンピュータのコネクタへ接続します。



●電源ケーブルの接続

電源ケーブルは付属品をご使用ください。

①本機の電源が切れていることを確認します。



②本機背面の電源ケーブル接続部に、付属の電源ケーブルを差し込みます。



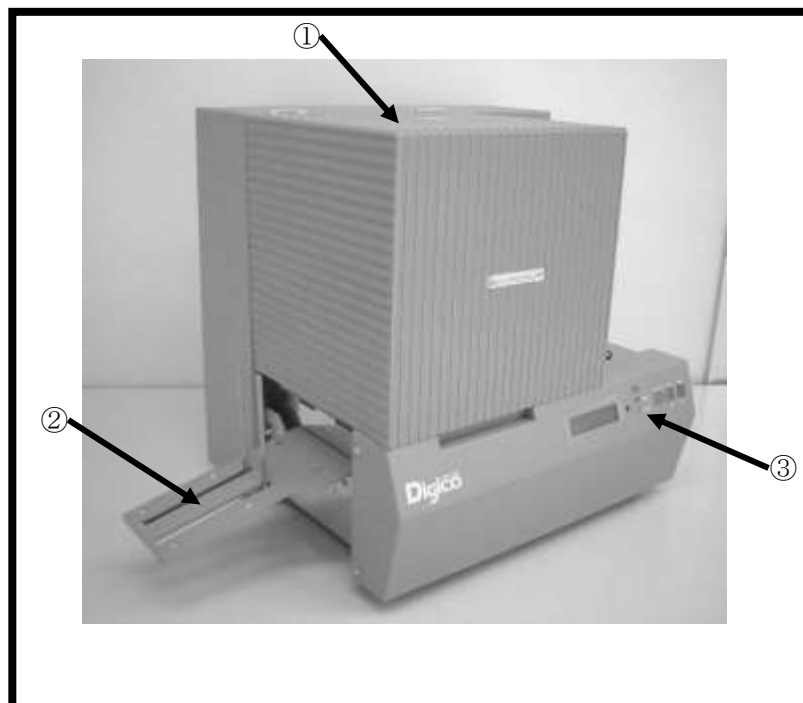
③電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込みます。



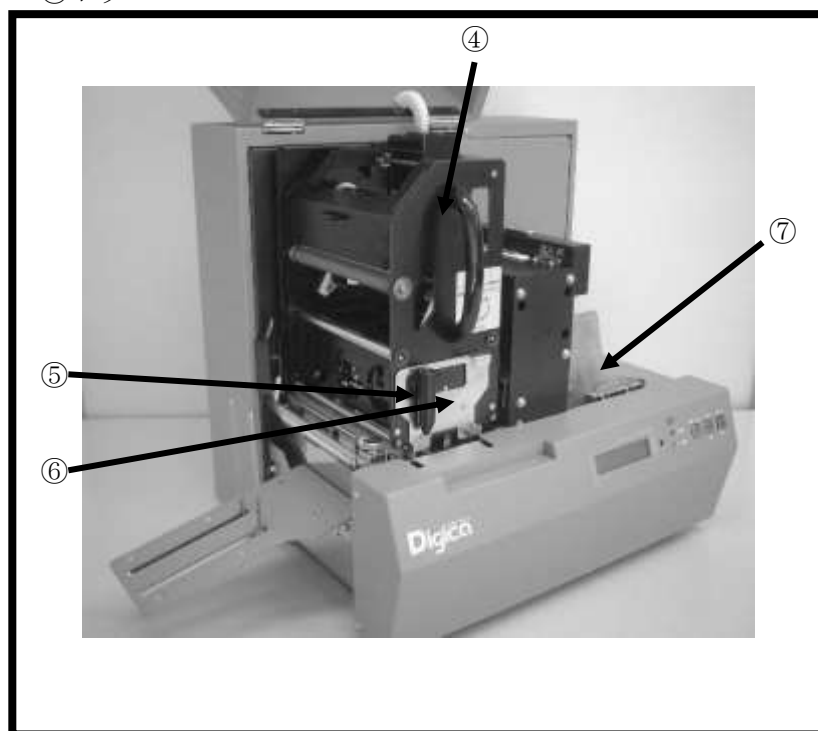
意

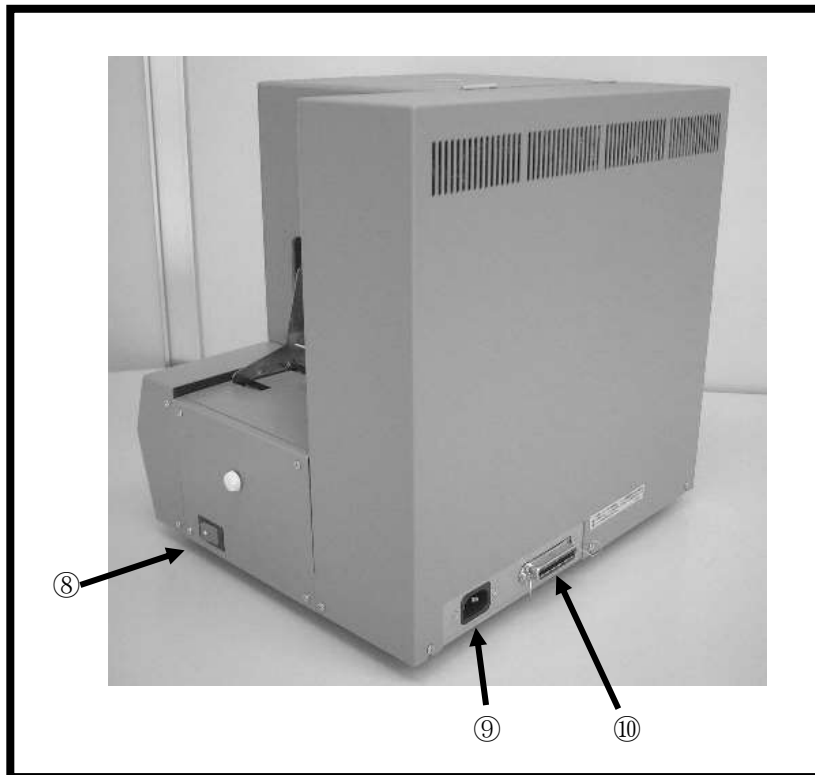
本機の電源スイッチがオンのときは、電源ケーブルを差し込まないでください。感電や故障の原因になることがあります。

●各部の名称



- ①フロントカバー ②排紙トレイ ③オペレーションパネル
④リボンカセット ⑤ヘッドロックレバー⑥ヘッド押さえ板
⑦ホッパー

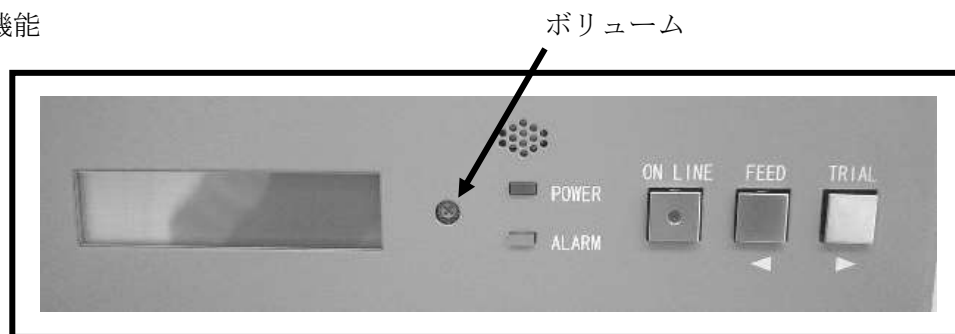




⑧電源スイッチ ⑨電源コンセント ⑩パラレルインターフェイス

●オペレーションパネルの設定

・操作方法と機能



スイッチ

ON LINE	オンライン／オフラインの切り替えを行うスイッチです。 オンラインの状態ではコンピュータからの印字出力が行えます。
FEED	オフラインの状態にて紙送り動作を行います。
TRIAL	このスイッチを押すことにより、TRIALモードになります。 このスイッチを押してから印字出力データをコンピュータより送りますと、送信した枚数とは関係なくテスト印字が1枚できます。 品質状態に問題がない場合、ON LINEスイッチを押すと残りのデータを印字します。 品質を調整したい場合はTRIALスイッチ5秒間押しおきますと印字データがリセットされます。

ランプ

POWER	プリンターに電源が投入されている時点灯します。
ON LINE	オンライン状態時に点灯します。
ALARM	プリンターの状態を表します。 <消灯> プリンターが動作していないときはランプが消灯しています。 <緑色に点灯> プリンターが印字動作中はランプが緑色に点灯しています。 <赤色に点灯> エラー発生時に赤く点灯します。

ボリューム

ボリュームを調整することにより、表示パネルの濃度が可変できます。

● TRIALモードについて

TRIALモードは通信によりデータを送受信するシステムのための機能です。
通常の印刷では使用しません。

- ① TRIALスイッチを押します。

オンライン	
トライアルモード	0000

- ② コンピュータより印字するデータを数枚指定し送信します。

データジュシン	
トライアルモード	0000

- ③ 1枚のみ送信したデータを印字します。
印字終了と共にONLINEスイッチのランプが消灯しオフライン状態になります。
- ④ 印字品質などに問題がないかを確認します。
- ⑤ 問題がない場合、ONLINEスイッチを押しますと、送信データの印字を再開します。(XXは送信したデータ枚数)

データジュシン	
トライアルモード	00XX

- ⑥ 印字品質を修正、濃度を変更したい場合、TRIALスイッチを5秒間押し続けると、本機側で受け付けている残りの送信データをリセットする事が出来ます。
(リセット完了時にブザーがなります。)
- ※リセット中の表示XXXは累計印字枚数を表示しています。

オフライン	
00000XXX	

- ⑦ TRIALモードを終了する場合は、もう一度TRIALスイッチを押すと通常のオンラインモードになります。

●エラーメッセージについて

本機をご使用中にエラーメッセージを表示した場合は、その内容に従って対処してください。

万一本機が復旧しない場合は、ご購入の販売店又は弊社サポートセンターまでご連絡ください。

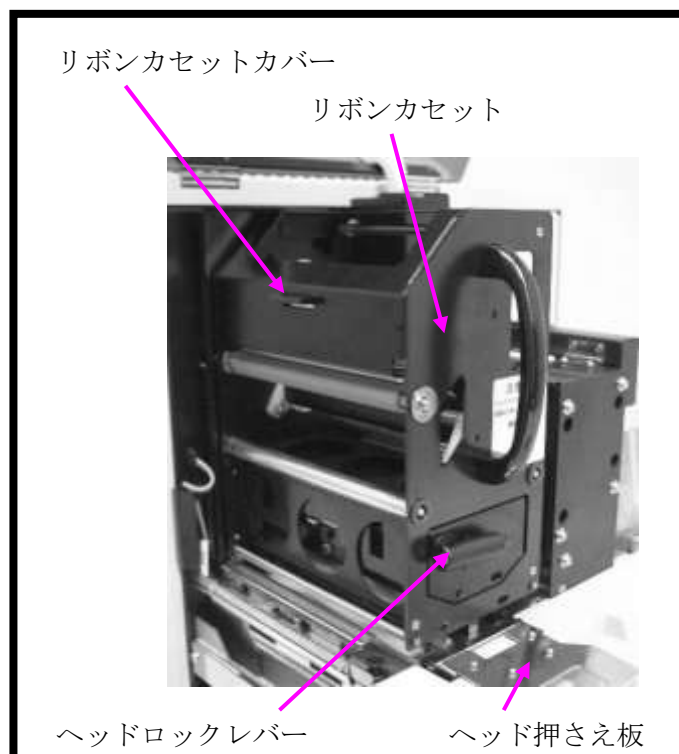
表 示	原 因	処 置
ペーパーエンド	・ホッパーに用紙がありません。	・ホッパーに用紙をセットしてください。
リボンエンド	・インクリボンがなくなりました。	・新しいインクリボンをリボンカセットにセットしてください。
ヘッドロックエラー	・ヘッドロックレバーがロックされていません。	・ヘッドロックレバーをセットしてください。
ジャムエラー	・用紙が本機内部でつまっています。	・つまっている用紙を取り除いてください。
カバーオープン	・フロントカバーが開いています。	・フロントカバーを静かに閉じてください。
リボンカセットエラー	・リボンカセットがセットされていません。	・リボンカセットを本機へセットしてください。
ナイブエラー	・本機内部で何らかの障害が発生しています。	・直ちにご購入の販売店までご連絡ください。
スタックエラー	・用紙が排出口でつまっています。	・つまっている用紙を取り除いてください。
クロックエラー	・CPU 基板のクロックに異常が生じました。	・一度電源をOFFにし、再度電源を立ち上げ直してください。

● 日常の作業

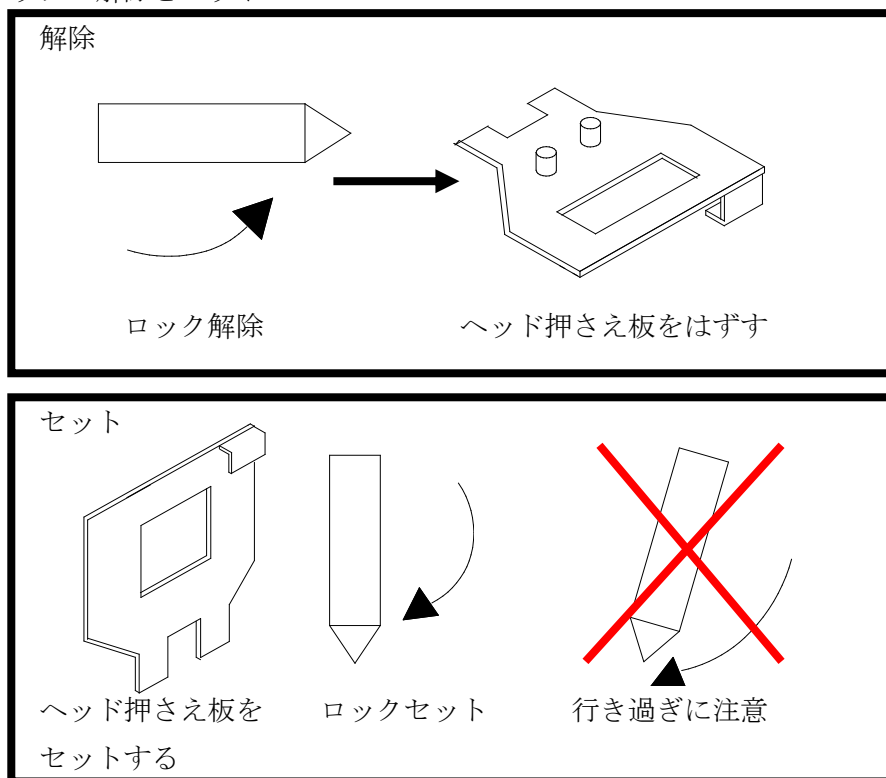
■ インクリボンの交換

1. 本体よりリボンカセットを取り外します。
まず、ヘッドロックレバーを解除させ、
ヘッド押さえ板を手前に倒します。
取っ手を持ち、リボンカセットを
引き抜きます。

注：リボンカセットをセットする時は
必ず電源ONの状態で行ってください。



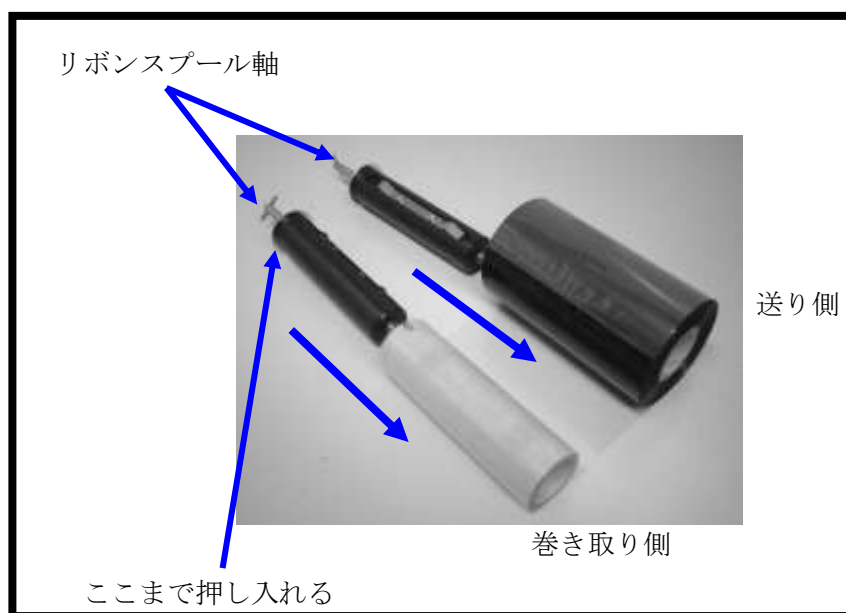
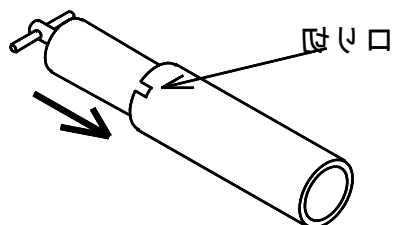
● ヘッドロックの解除とセット



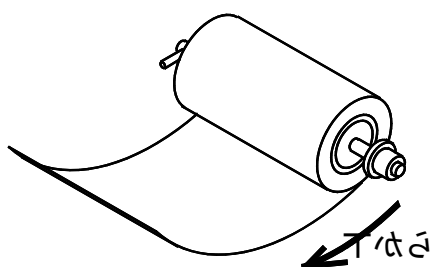
2. リボン軸（スプール軸）にインクリボンを差し込みます。

それぞれリボンスプール軸の
奥へ付きあたるまで差し込み
ます。

- ・リボンスプール軸の挿入に当って
は、リボンの紙筒に切り口がある
方に下図の様に挿入して下さい。
(巻き取り側、送り側同様です)



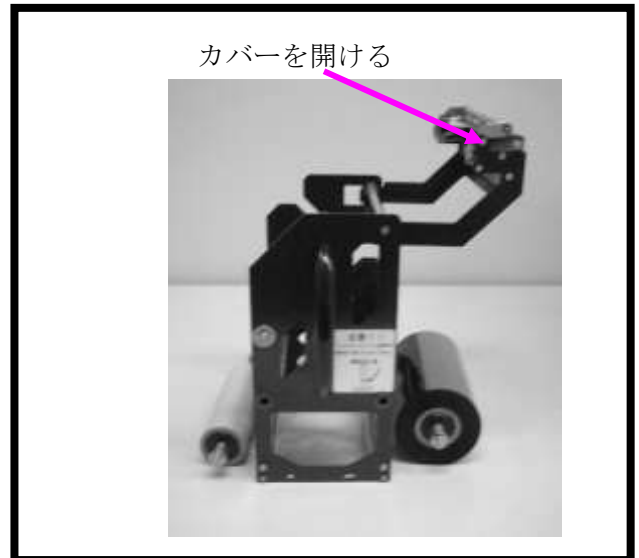
- (注) リボンスプール軸の形状と、
送り側・巻き取り側のリボン
の位置を図の通りになる様に
セットしてください。



3. リボンスプール軸をリボンカセットへセット
します。

- ・まず、リボンカセットカバーを開けます。

- ・右図の様に、リボンスプール軸をセットした
インクリボンを準備し、その上にリボン
カセットを置きます。

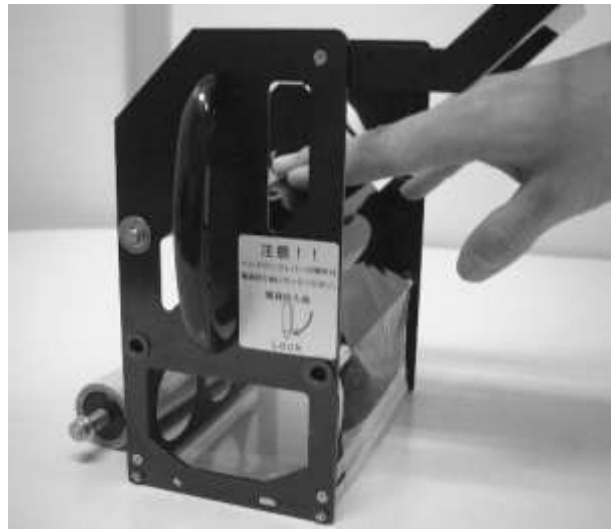


- ・リボンスプール軸をセットする箇所を確認
します。
右図の箇所にリボンスプール軸をセットする
軸受けがありますので、ここにセットします。
※下側に送り側リボンをセット
上側に巻き取り側リボンをセット

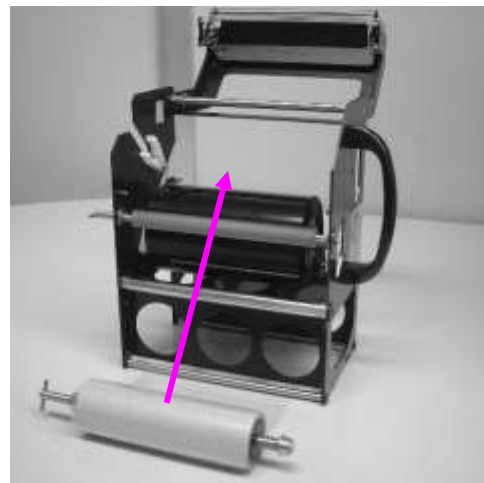


- 図のようにリボンカセット裏面から斜め下に送り側リボンをセットします。

(カチッとはまるまでセットします)



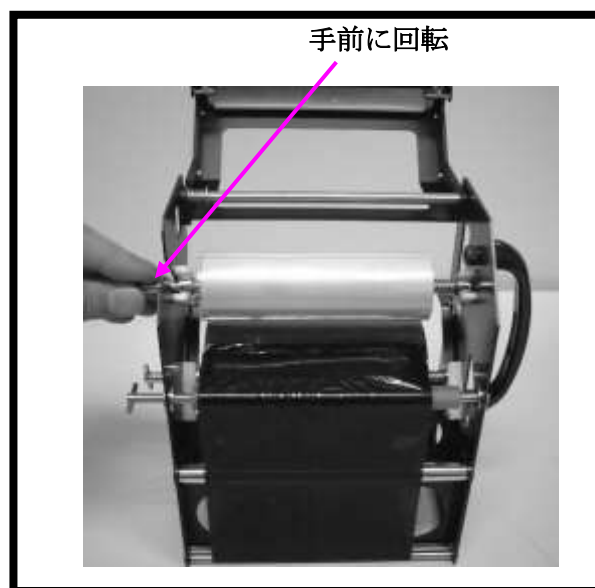
4. 巻き取り側のリボンをそのまま乗せる感じで斜め下にセットします



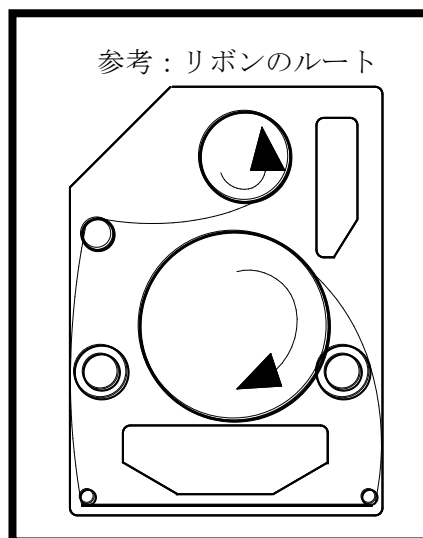
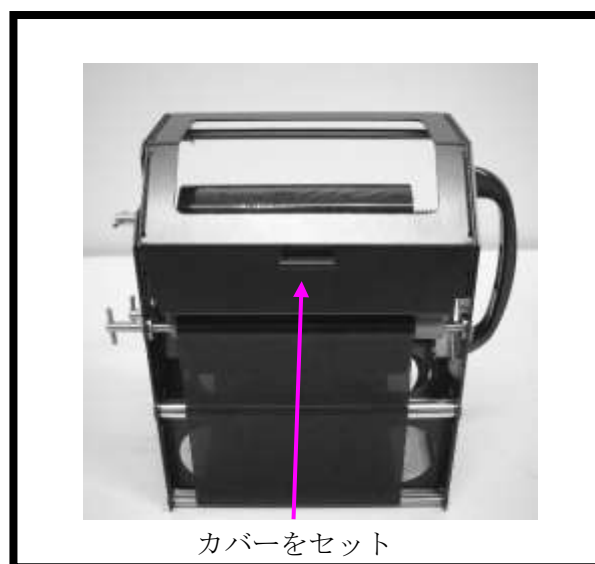
(カチッとはまるまでセットします)



5. リボンスプール軸の左側を手前に回転させ、透明シートがなくなるまで巻きます。
カセットに矢印マークがついております
(矢印の方向へ回してください)

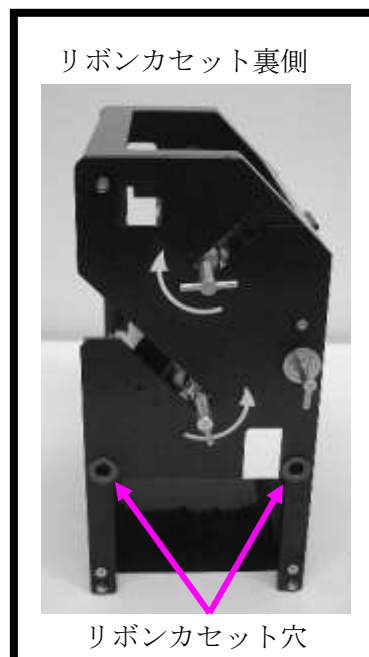


6. リボンカセットカバーを閉めます。

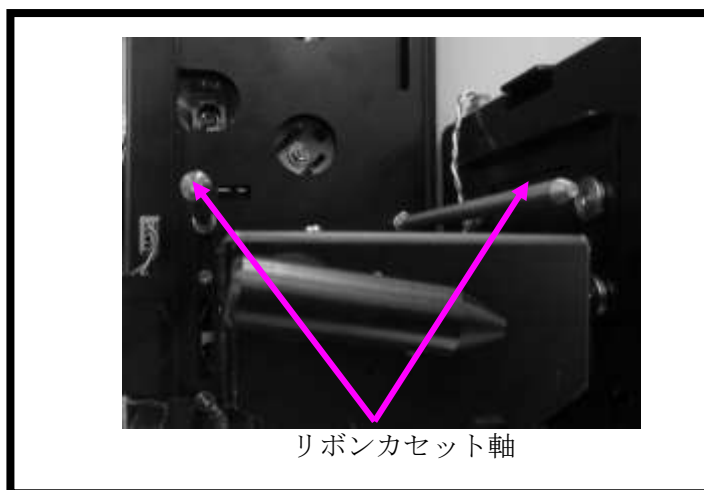


7. 次にリボンカセットを本機にセットします。

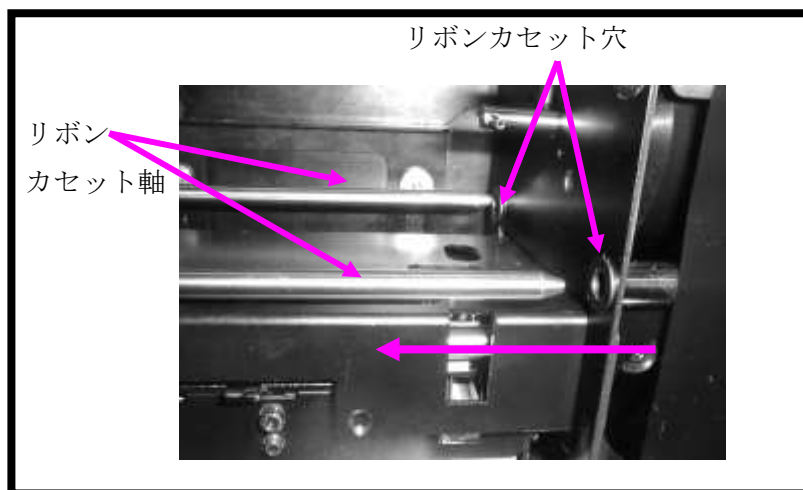
- リボンカセットの穴を確認し、リボンカセット軸へゆっくりと平行に入れていきます。
- 最後まで入りましたらヘッド押さえ板をセットし、ヘッドロックをセットします。



- 注) リボンカセットが正常に入っていない場合、ヘッドロックがセット出来ません。
再度リボンカセットを入れ直してください。



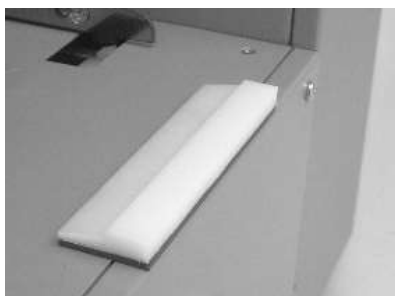
- 注) リボンカセットをセットする場合は、必ず電源ONの状態で行ってください。
電源OFFの状態で行うと、ヘッドロックが固くなりロックできない場合があります。



■用紙のセット

1. 添付の枕をホッパーにセットします。
セット位置は用紙のサイズ（名刺／はがき）
によって異なります。
セットの位置は以下を参考にして下さい。

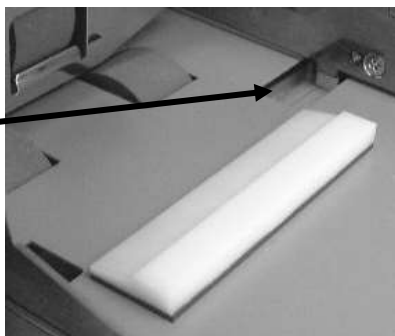
①はがき用



ホッパー後端と枕後端を合わせる

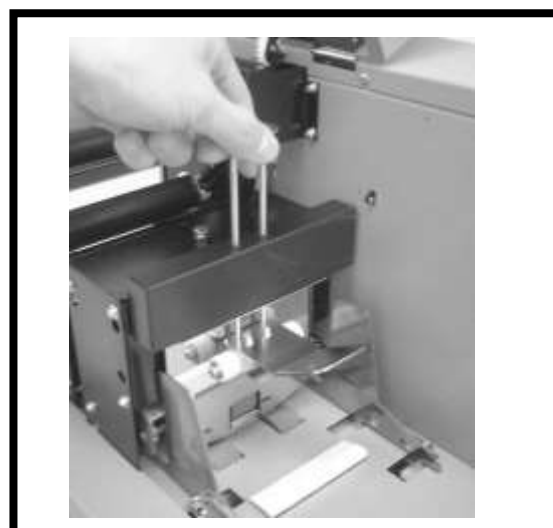
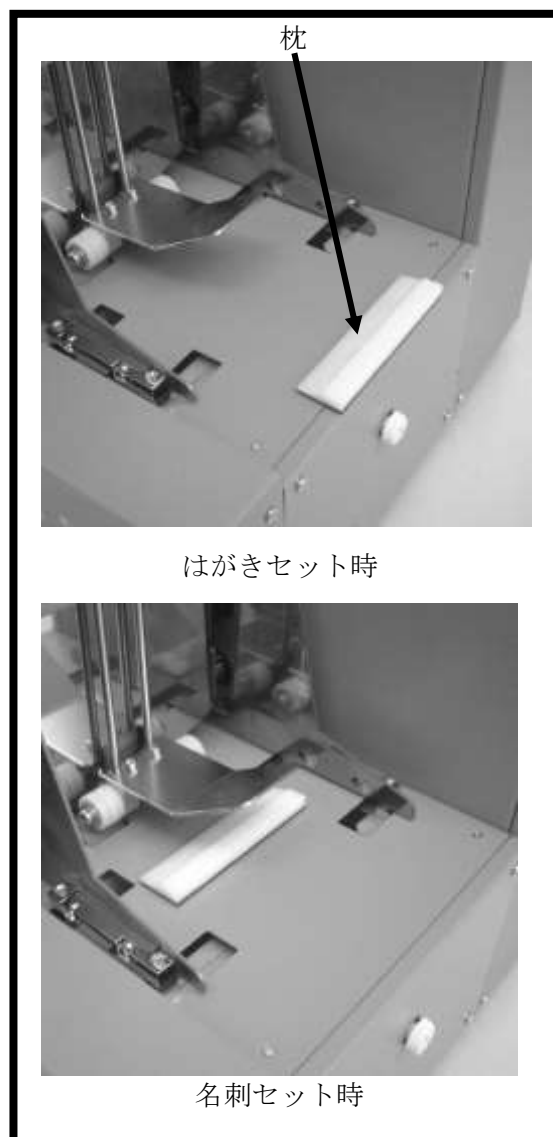
②名刺用

角穴



角穴後端と枕先端を合わせる

2. ホッパー部のウェイトを手で引き上げます。



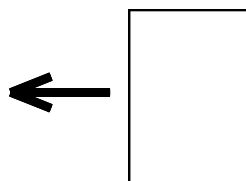
3. 印字する用紙を付きあて板にあてて先端をそろえ、用紙ガイドを左右同時に手でスライドさせ、用紙の幅に合わせます。
(中央合わせ)

4. ウェイトを静かに下ろします。

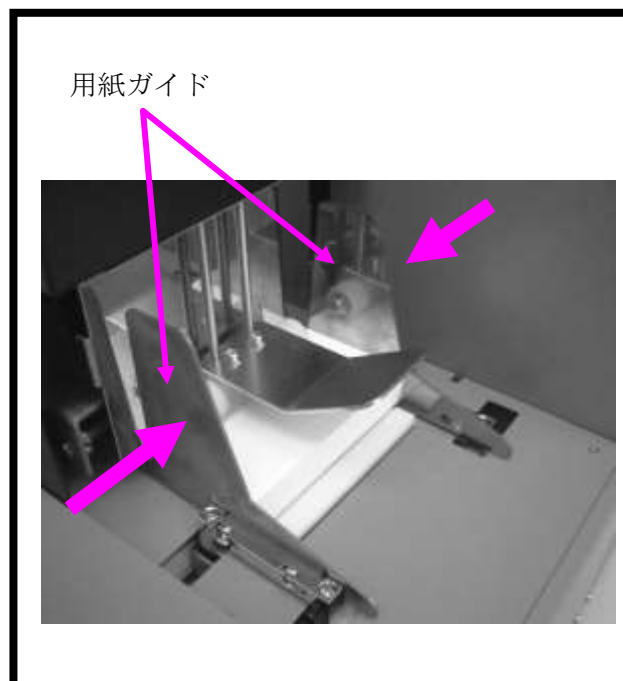
以上で用紙のセットは終了です。

* 印字したい面を上にしてセットして下さい。

* 名刺は横向きにセットして下さい。

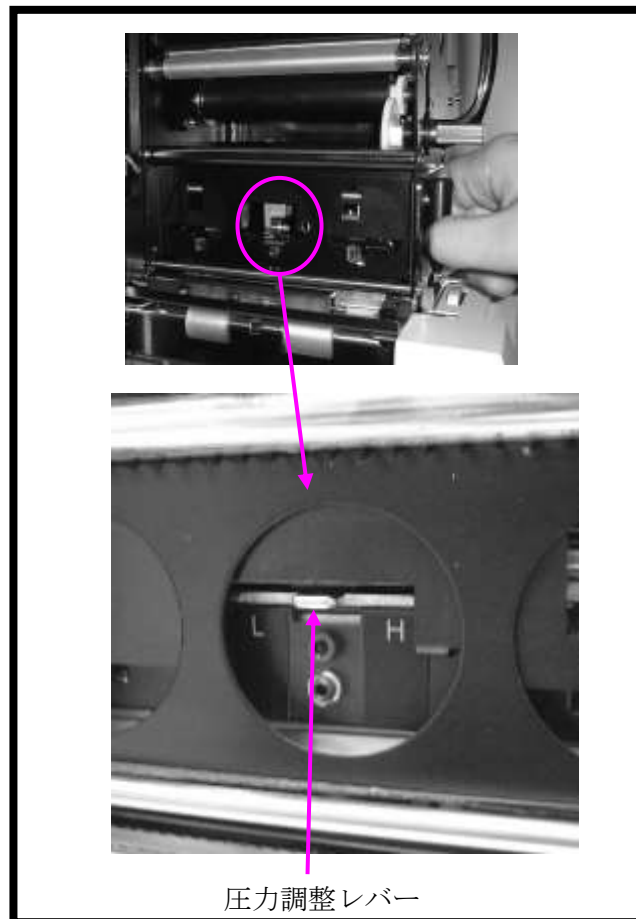


はがきは縦向きにセットして下さい。

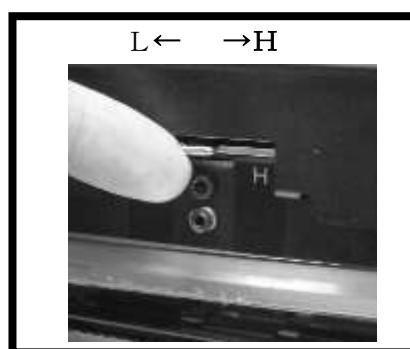


■ヘッド圧力調整

1. ヘッドロックレバーを解除します。
 2. 右図に圧力調整レバーが確認できます。
このレバーを右側にスライドさせると
圧力を上げることができます。
(通常は左側)
- ・必ず“カチッ”と音がするまでスライド
させて下さい。



3. 圧力調整レバーを調整後リボンカセットを入れ、
ヘッドロックレバーをセットします。



＊「H (H i g h)」の設定は、官製はがきや表面の材質があまり良くない用紙の時に、
ご使用下さい。

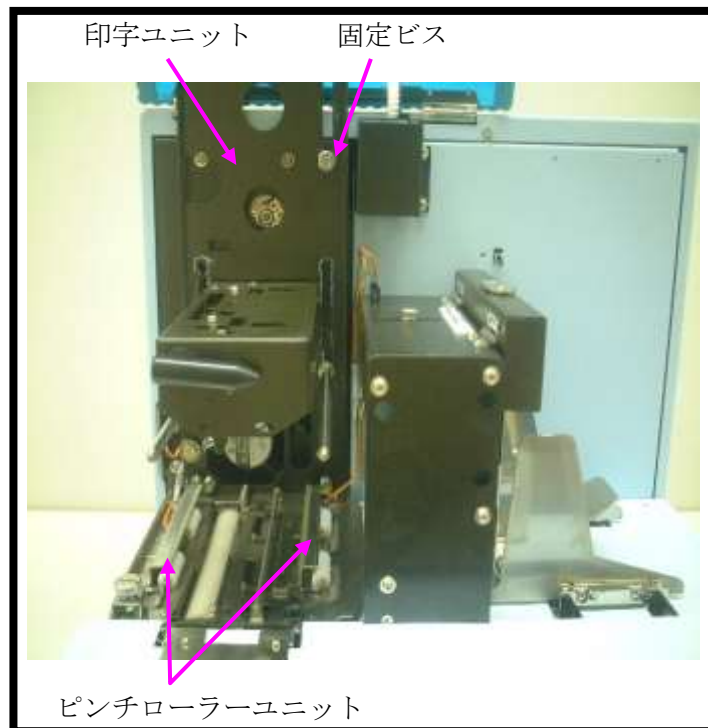
「H」の設定から「L (L o w)」へ戻す場合、戻しにくい場合があります。
その際はヘッドロックレバーを動かしながら行くとスムーズに行えます。

注) リボンカセットを取り除いた状態で操作します。

■ ジャム用紙の取り除き方

搬送中に用紙がつまってしまった場合の用紙の取り除き方です。

1. ヘッドロックレバーを解除させ、ヘッド押さえ板を手前に倒します。
取っ手を持ち、リボンカセットを引きぬきます。
2. 印字ユニット固定ビスを緩め印字ユニットを上引き上げます。
3. 一番上まで引き上げたら固定ビスを締め印字ユニットを固定させます。
4. ピンチローラーユニットの下に用紙が詰まっている時には、ピンチローラーの止めネジを外して、ユニットを軽く持ち上げ、下に詰まっている用紙を取り除きます。



5. 印字ユニットを手で持ち、固定ビスを緩め印字ユニットをゆっくり下ろし、固定ビスを締めます。

注) 印字ユニットを下ろすときは、
ゆっくりと最後まで下ろしてください。

用紙を取り除くことができれば終了です。

- * 固定ビスを緩めるには、マイナスドライバー（コイン等）が必要です。
- * 固定ビスを緩める時、完全に緩めるとネジがとれてしまいますのでご注意ください。
ピンチローラーユニットを取り外し、用紙を取り除いて下さい。

■ リボンの弛み調整

リボンが緩んでいる場合にはリボンカセットを取り外し、カバーを開け、巻き取り側のリボンスプール軸をカセットにある矢印の方向に回して下さい。

■ プリンタヘッドの交換

プリンタヘッドは消耗部品で、破損や寿命で交換が必要になります。プリンタヘッドの交換はサービスマンによる交換となりますので、サポートセンターへご連絡ください。

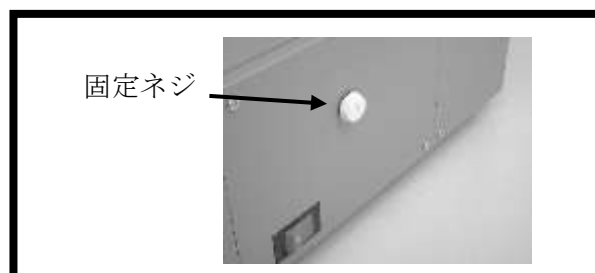
■ 印字位置調整

印字位置調整はプリンタドライバー上の設定により行えます。プリンタドライバーマニュアルをご参照ください。

■斜行調整

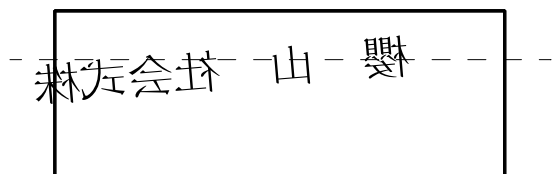
出力された印字が曲がって印字されている場合、ホッパーガイドを斜行に合わせて調整します。

1. 固定ネジを緩め、ホッパーガイドのロックを解除します。



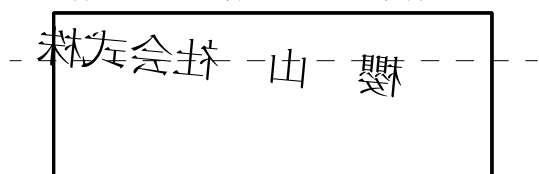
2. 斜行の状況に合わせてホッパーガイドを右もしくは左に傾けます。

- ・ 右肩上がりに斜行している場合

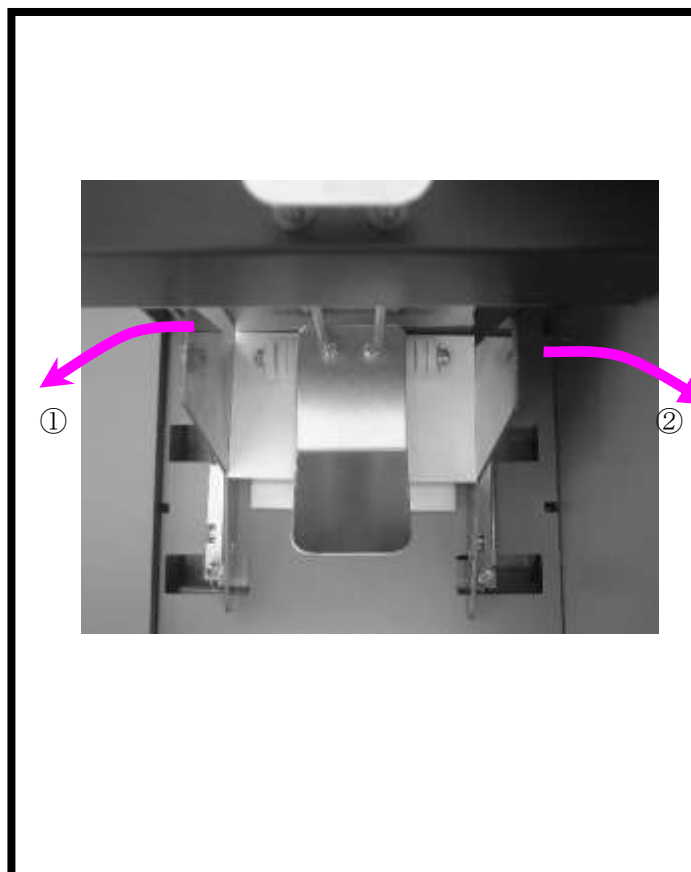


①の方向に傾けます

- ・ 左肩上がりに斜行している場合



②の方向に傾けます



3. ホッパーガイドを手でおさえながら固定ネジを締め込んでホッパーガイドをロックします。
4. 印字を1枚ずつ出力しながら斜行に合わせてホッパーガイドの位置を少しずつ調整します。
5. 上記3・4の操作を繰返し、斜行が修正されましたら終了です。

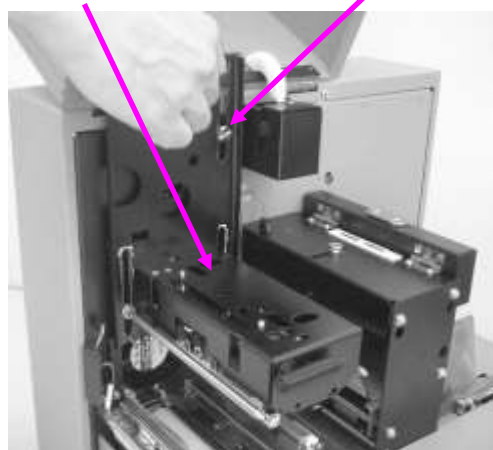
■ リボン剥離板の取り付け方

箔印刷等の冷時剥離リボンを使用する場合に取り付けてください。

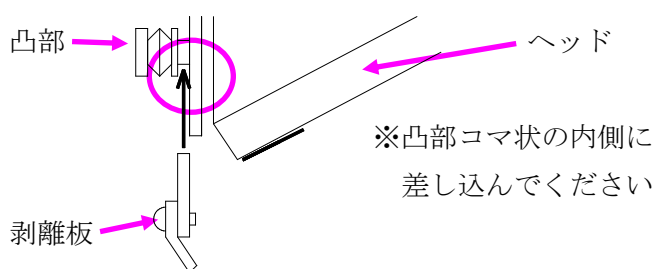
※箔印字を行う際は、ドライバーからの箔印字指定が必要になります。(ドライバー取扱説明書参照)

- ①固定ビスをマイナスドライバー（コイン等）で緩め、印字ユニットを上に取り上げます。
- ②一番上まで引き上げたら固定ビスを締め、印字ユニットを固定させます。

印字ユニット 固定ビス



- ③剥離板の凹部を印字ユニットの凸部に合わせ、ヘッドと剥離板が平行になる様上にはめ込みます（突き当たるまで押し上げてください）



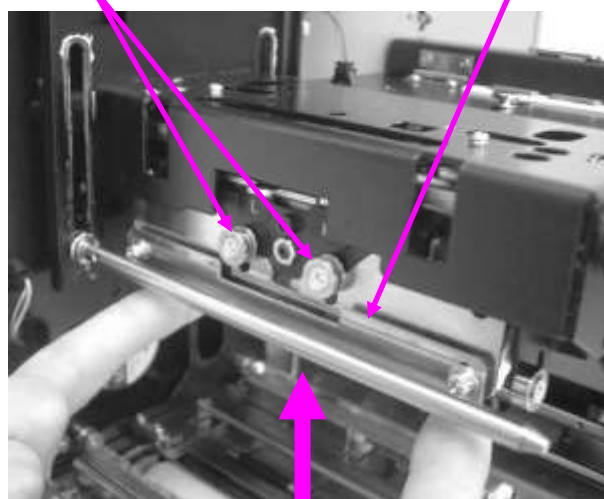
- ④印字ユニットを元の位置に下げ、固定ビスを締めたことを確認し、ご使用下さい。

<ご注意>

箔印刷時は印字不可エリアが変わります。

- ・通常印刷の印字不可領域：用紙後端 2 mm以内
- ・箔印刷時の印字不可領域：用紙後端 6 mm以内

凸部 剥離板



突き当たるまで押し上げる

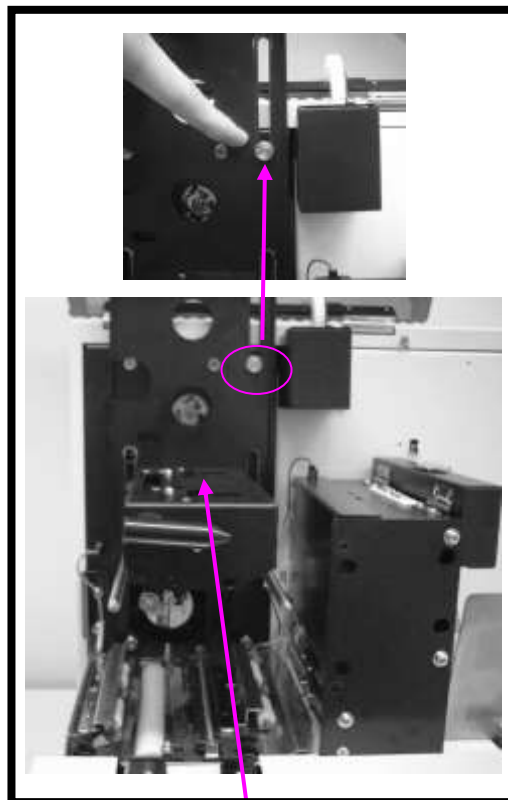
●各部の清掃

■プリンタヘッド、プラテンの清掃

月に1度は必ず実施して下さい。

1. 印字ユニット固定ビスを緩め、印字ユニットを上を持ち上げます。一番上まで引き上げたら固定ビスを締め、印字ユニットを固定させます。

注：プリンタヘッドの清掃は必ず専用のプリントヘッドクリーナーを御利用下さい。（同梱品）
OAクリーナー等は絶対に使用しないで下さい。

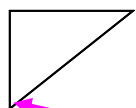


印字ユニットを持ち上げた状態

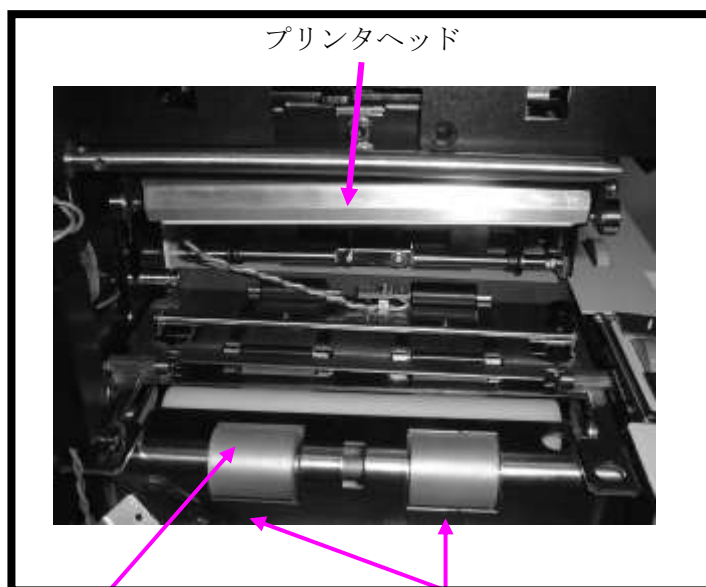
2. プリンタヘッドは添付のプリントヘッドクリーナーで清掃します。
プラテン・排出ローラーは添付のローラークリーニングキットで清掃します。

プリンタヘッドは端面の汚れを、また
プラテンローラーと排出のローラーは
表面の汚れを拭き取ります。

注) プリンタヘッド



端面を清掃



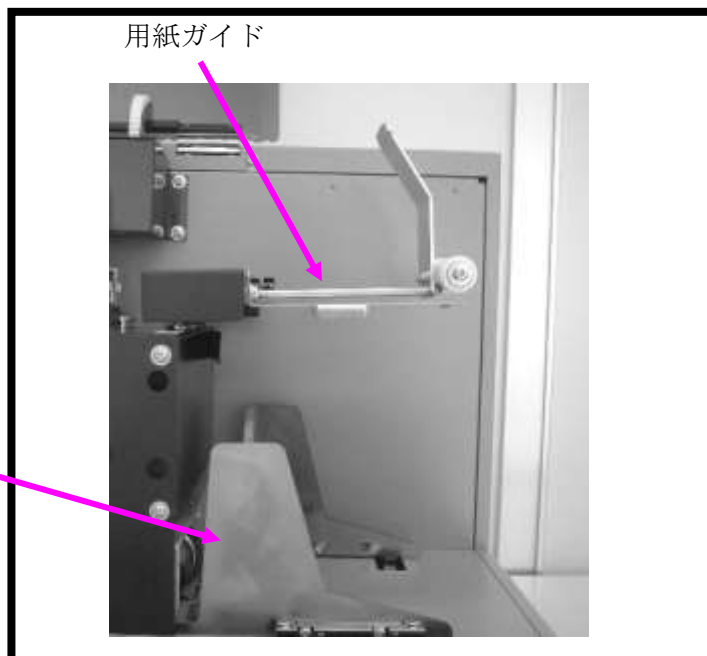
プラテンローラー

排出ローラー

■取り出しローラーの清掃

1. ホッパーガイドを左右最大に広げます
2. 給紙部の用紙ガイドを持ち上げます。
(マグネットに付き止まります)

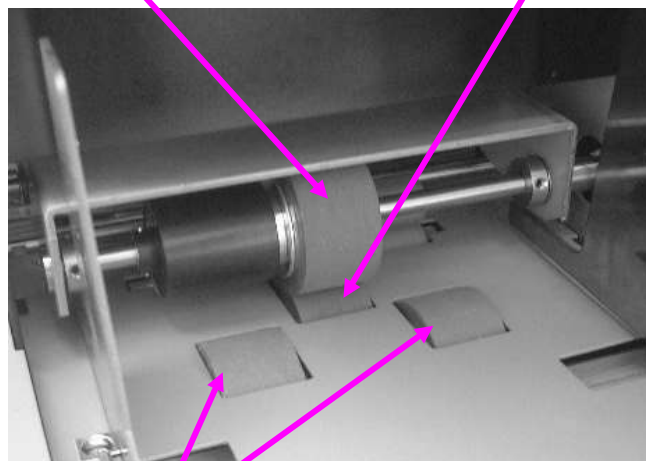
ホッパーガイド



3. この状態で取り出しローラー、
正転ローラー、逆転ローラーを専用の
プリントヘッドクリーナーで清掃します。

逆転ローラー

正転ローラ

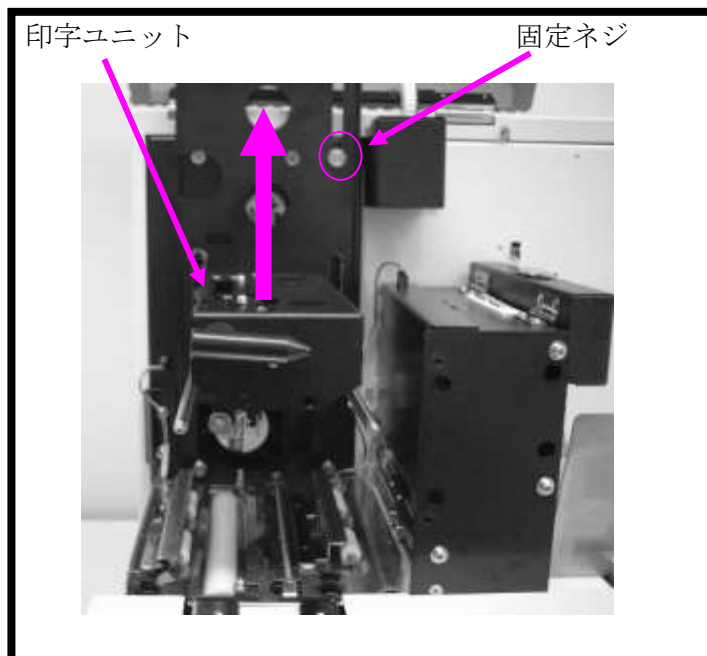


取り出しローラー

3. 清掃後、用紙ガイドを戻して下さい。

■第一ピンチローラーの清掃

1. 印字ユニット固定ビスを緩め、
印字ユニットを上を持ち上げます。
一番上まで引き上げたら固定ビスを
締め、印字ユニットを固定させます。

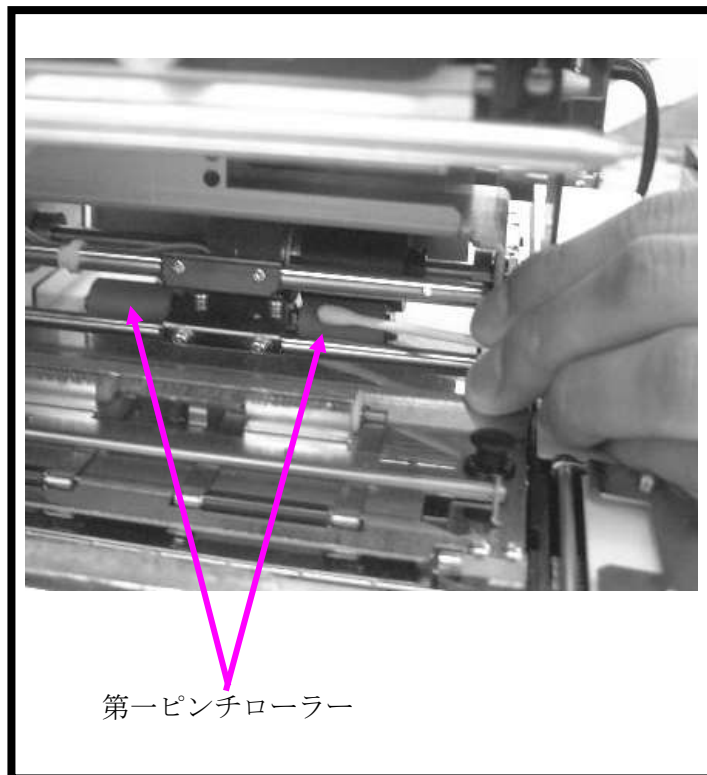


2. 印字ユニット側から第1ピンチローラー
が見えます。
綿棒にクリーニング溶液をつけ清掃して
ください。

綿棒、クリーニング溶液は
「搬送ローラークリーニングキット」に
添付されています。



ローラークリーニングキット



第一ピンチローラー

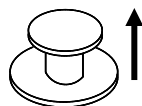
※クリーニング液がなくなった場合は市販のローラークリーナー
または薬局などで販売しているアルコールでも代用できます。

■ センサーの清掃

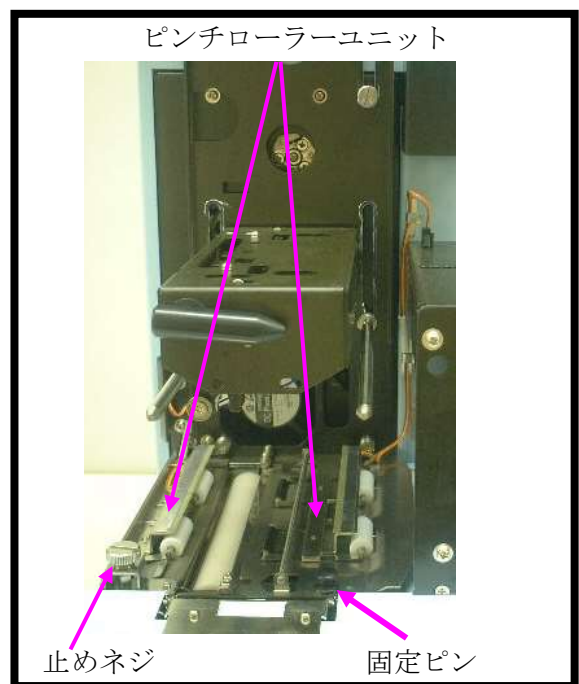
1. 印字ユニットを持ち上げます。

ピンチローラーユニットを固定している固定ピン・止めネジを外しますと、ピンチローラーユニットがそれぞれ持ち上げることが出来ます。

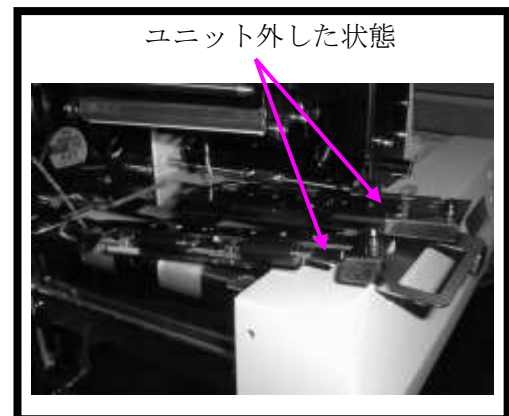
※各ユニットにはセンサーのケーブルが接続していますので、取扱には十分気をつけてください。



固定ピン（1カ所あります。）

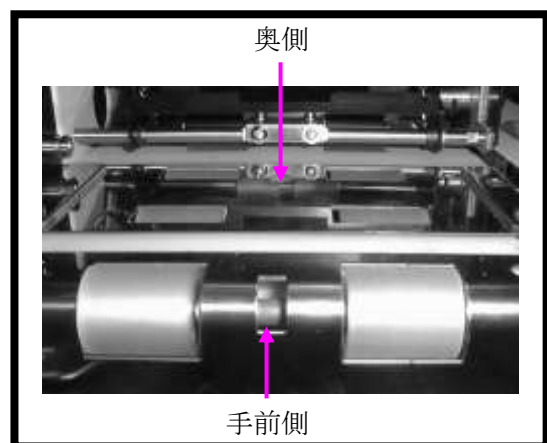


2. 各ユニット中央にガラス玉が確認できますので、添付のクリーナーでガラス表面を清掃します。



3. 本機手前と奥側にセンサーが確認できますので、奥側のセンサーは表面を、手前側のセンサーはエアダスターなどを使用してガラス表面の紙粉などを吹き飛ばします。

4. それぞれのふき取り、ピンチローラーユニットをセットし、固定ピン・止めネジでそれぞれを固定したら終了です。



●オプション品と消耗品

本機には下記の様なオプション品と消耗品が用意されています。

インクリボン

商品名	発注単位	標準価格	1個当たり単価
DPR104 ファインブラック	5本	22,500	4,500
DPR102 コート紙用ブラック	2本	14,000	7,000
DPR201 ライトグレー	2本	16,000	8,000
DPR202 ライトレッド	2本	16,000	8,000
DPR203 ダークグレー	2本	16,000	8,000
DPR204 レッド	2本	16,000	8,000
DPR205 オーシャンブルー	2本	16,000	8,000
DPR206 ブルー	2本	16,000	8,000
DPR207 ダークブルー	2本	16,000	8,000
DPR208 ライトグリーン	2本	16,000	8,000
DPR209 ダークグリーン	2本	16,000	8,000
DPR210 ブラウン	2本	16,000	8,000
DPR212 金箔	1本	20,000	

※1本当たり名刺で4,500枚、はがきで1,800枚以上印字可能です

但し、金箔につきましては はがきで1,300枚以上となります

オプション品

商品名	入数	標準価格	備考
リボンスプール軸	2本入り	16,000円	リボン交換をスムーズに
リボンカセット	1個入り	30,000円	リボン交換用
ヘッドクリーニングパック	5袋入り	1,000円	ヘッド交換等のクリーニング用

消耗部品

プリンタヘッド 98,000円／1本

ローラー 個別ご提示

●アフターサービスについて

本機を安心してご使用いただくために、当社では保守サービスを行っております。
ここに保守サービスについてご説明申し上げます。

1. 保証期間中の保守サービス

正常なご使用のもとにおける故障については、納入後6ヶ月間は保証期間とし、
消耗品を除き無償で修理いたします。

(返送修理にて実施いたします)

保証期間等の詳細は保証書又は「保守サービスのご案内」をご覧ください。

※消耗部品・・・プリンタヘッド、ローラー

2. 保証期間がすぎたあとの保守サービス

下記の2種類があります。

(1) 契約保守サービス

お客様と弊社と保守契約を締結させていただくことにより、及び正常なご使用
のもとで生じた故障の修理を弊社が責任を持って行います。

年間一定料金契約となっておりますので、万一故障などが生じても安心です。

・返送保守と訪問保守の2種類が選択できます。

(2) 無契約スポットサービス

故障が発生した時点で、お客様のご要望により、スポットでそのつど修理する
方式です。

この場合は、交換部品代、技術料、及び証経費を有償とさせていただきます。

お問い合わせ

株式会社 山 櫻 カスタマーサポートセンター

TEL：03-5543-2596 FAX：03-5543-6329